

平成29年3月30日

## プレスリリース

報道各位

### 臨時総会決議事項について

平成29年3月30日開催の第46回臨時総会において下記のとおり決議されましたのでお知らせいたします。

#### 記

1. 平成29年度事業計画及び収支予算（案）の件

原案どおり承認された。

\* コメ先物市場の本上場の実現に向けて取引参加者の裾野拡大を加速させるとともに、安定的な市場運営に向けて盤石な経営基盤の構築、次世代商品の調査研究及びデリバティブの普及啓蒙活動に取り組むもの。（別紙）

\* 予算案総額は 331,210,000 円（前年比 4.7%減）

引き続き振興関係費に重点を置きながら経費節減に努めるもの。

2. 平成29年度会費の賦課及び徴収方法（案）の件

原案どおり承認された。

\* 定額会費

受託会員 125,000 円（税抜）

一般会員 20,000 円（税抜）

\* 予納定率会費

大阪コメ、新潟コシ 30 円（税抜）

東京コメ 55 円（税抜）

その他の商品 50 円（税抜）

\* 受渡手数料

100 円（税抜）

以上

## 平成 29 年度 事業計画

### 大阪堂島商品取引所

平成 29 年度は、コメ先物市場の試験上場期限を迎えるにあたりまして、過去の取引状況を検証するなかで本上場の実現に向けた取引参加者の裾野拡大を加速させ、また、将来の市場機能の強化を見据え、各種制度の改善、新たな取引システムの導入、現物市場の構築等について、具体的な準備を本格化させて参ります。併せまして、安定的な市場運営に向けた環境整備の一環として、盤石な経営基盤の構築、次世代商品の調査研究、デリバティブの普及啓蒙等の課題に継続して取り組むことと致しまして、下記事業計画を推進して参ります。

#### 1 コメ先物の本上場に向けた取り組み

今夏のコメ市場継続に関する審判を迎えるにあたりましては、生産者や集荷業者等の幅広い参加を得ることが要請されていることを鑑み、産地での営業活動やメディアを通じた周知活動を活発化させるとともに、前期より実施しているコメ先物パイロットプログラム、本所 WEBSITE における米穀現物価格の公表を継続して展開する等、コメ先物取引の理解浸透に向けた取り組みを一層加速させて参ります。

#### 2 コメ先物の将来に向けた市場機能強化

東京コメ、大阪コメ、さらに昨秋、単一産地品種銘柄として取引を開始致しました新潟コシにつきまして、それぞれのニーズに沿った制度改善に積極的に取り組み、加えて、将来の更なる市場発展を目指し、受託会員のコスト負担を最大限考慮するなかで、ザラバ取引システムの導入に向けた準備・検討を本格化させるとともに、先物市場の両輪として機能し得るコメ現物市場の構築に着手して参ります。

### 3 盤石な経営基盤の構築

市場の活性化に向けた強固な体制の整備に向け、会員組織の一層の充実をはかるとともに、継続した経費削減策に取り組むなかで、保有資産の戦略的活用を積極的に展開する等、盤石な経営基盤の構築に努めて参ります。

### 4 次世代商品の調査研究

コメの本上場後を見据えた派生商品としてのオプション商品等の開発をはじめ、新規上場商品としての有力候補である小麦等について、将来に向けた調査・研究を継続して参ります。

### 5 デリバティブの普及啓蒙

商品先物市場の認知度向上及び産業インフラとしての重要性に関する啓蒙に向け、「大学寄附講義」を本年度も継続して実施するとともに、関係取引所との協力のもと、「デリバティブ都市大阪」の浸透に向けた活動展開に努めて参ります。

以 上